

宇陀市 次世代育成支援後期行動計画

概要版

子どもたちが地域に見守られ
安心してかがやく未来に羽ばたけるまち 宇陀



平成22（2010）年3月

宇陀市

次世代育成支援行動計画とは…

●計画策定の背景と趣旨

近年わが国の少子化傾向は、ますます進行し、2005（平成17）年には合計特殊出生率（ひとりの女性が一生の間に生むと考えられる子どもの数）が1.26まで低下しました。その後増加に転じた年もありましたが、依然その低下の度合いは深刻になると予想されています。

国は、こうした出生率の動向を踏まえ、仕事と子育ての両立支援など、子どもを生み育てやすい環境づくりに向けての検討を始めました。

■□■□■国策のながれ

1994（平成 6）年

1999（平成11）年

2003（平成15）年

『エンゼルプラン』策定

『新エンゼルプラン』策定

《次世代育成支援対策推進法》制定

一般事業主及び特定事業主、地方公共団体に行動計画策定が義務化

■□■□■宇陀市の動き

2005（平成17）年3月

2006（平成18）年1月

各旧町村において「次世代育成支援行動計画」（前期計画）策定
旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村が合併
宇陀市発足

本市においても、これまでの実績や効果を踏まえ、旧町村前期計画の見直しを行うことにより、新しく宇陀市として次世代育成支援後期行動計画を策定しました。充実した子育て支援策を推進することにより、このまちで子どもを生み、育てたいと思えるような魅力あるまちを目指します。

●計画の性格と期間

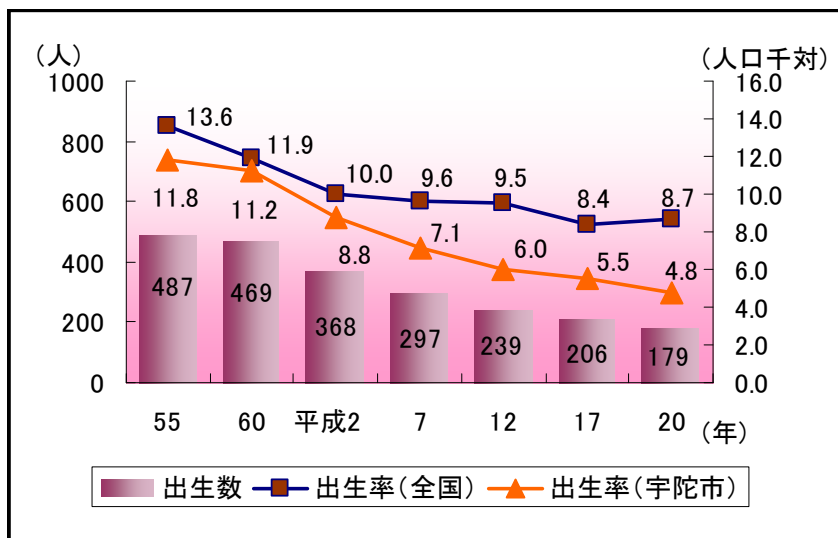
この計画は、就学前児童、小学生児童の実態調査や子育てに関するニーズ、ならびに旧町村前期計画の実績や効果などを踏まえ、**家庭・行政・地域や事業者などすべてのものを対象**とし、家庭と地域と行政が協働して、次代の社会を担う子どもたちの健全育成をめざす取り組みを推進するために策定します。

「市町村行動計画」は、10年間の時限立法である「次世代育成支援対策推進法」によって、地方公共団体に策定が義務付けられた計画であり、平成17年度からの5年間を前期計画、平成22年度から平成26年度までの5年間を後期計画とします。

宇陀市の子どもの現状

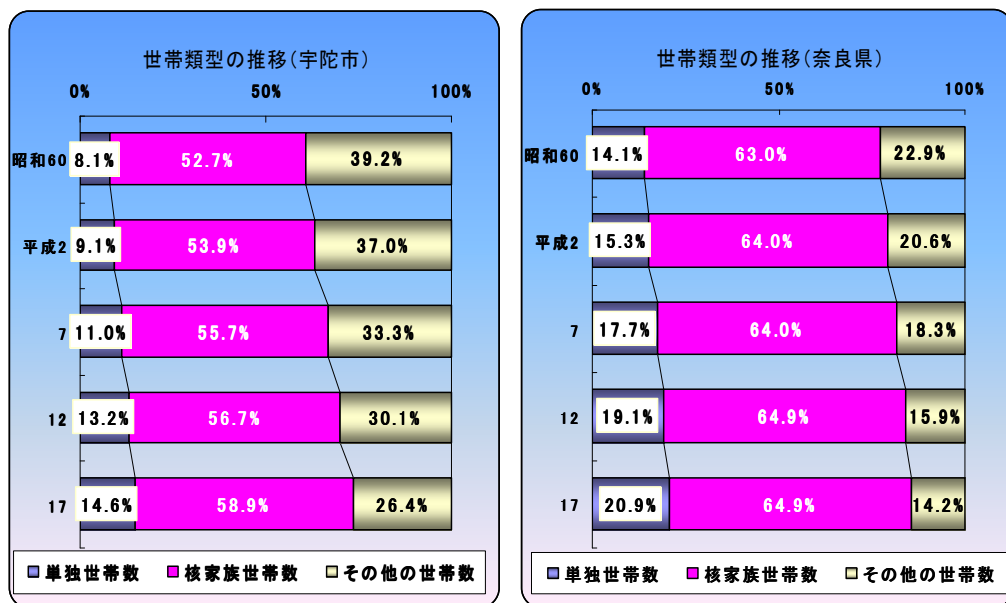
●出生数と出生率の動向について

出生率も減少傾向が続いており、平成20年の出生率（人口千人当たりの出生数）は4.8となっており、全国の8.7を下回っています。これらは、出産適齢期が含まれる15～64歳人口の減少が大きく影響していると考えられます。



●世帯の状況について

国政調査のデータから見ると、奈良県と同様「単独世帯」「核家族世帯」が年々増加傾向にあります。ただし、「その他の世帯(3世代同居等)」は減少傾向にあるものの、奈良県と比較するとその割合は高くなっています。



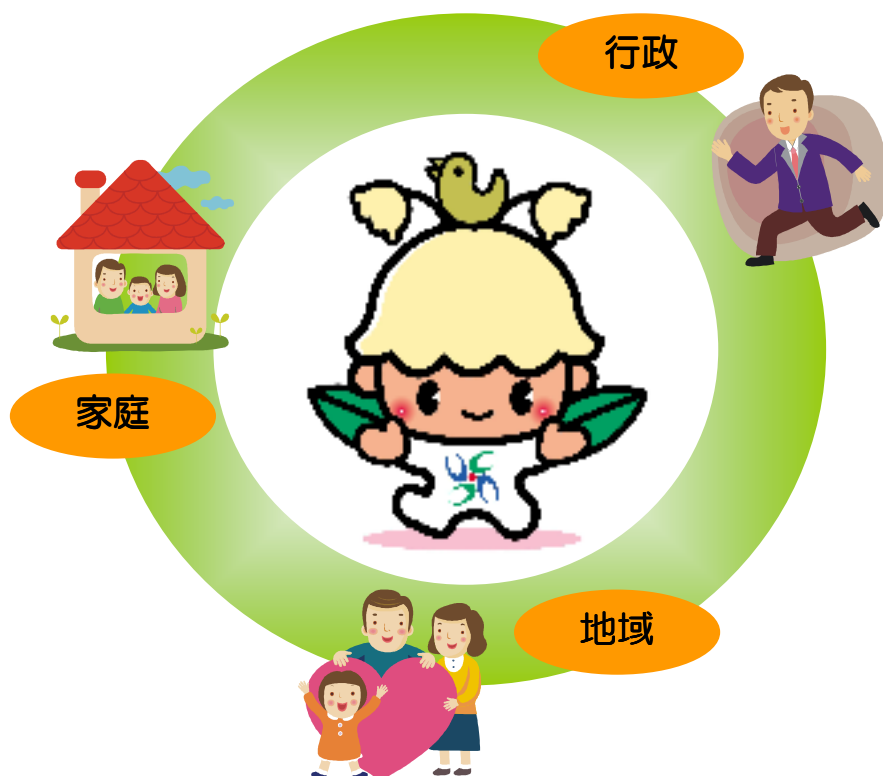
基本理念

子どもたちが地域に見守られ

安心してかがやく未来に羽ばたけるまち 宇陀



子どもたちは次代の社会の主人公です。その子どもたちを家庭だけでなく、家庭・行政・地域、それぞれが役割を担い、社会全体で子どもたちの育成を支援する仕組みづくりを目指します。





基本的な視点

1. 子どもの視点



すべての子どもが、誕生を喜ばれ、大切な存在として尊重されるよう、子どもの視点に立った取り組みを推進していきます。

2. 次代を担う子どもを育成する視点



子どもが人とのかかわりの中で、豊かな人間性が形成され、自立した次代の親になっていくための、長期的視野に立った健全育成への取り組みや環境づくりを推進していきます。

3. 家庭を支援する視点



すべての親が子育てに責任と喜びを感じ、子どもとの生活に安らぎや夢を持ち続けられるよう、すべての子どもと家庭への支援という視点に立った取り組みを推進していきます。

4. 地域社会全体での支援の視点



人々の協力と、助け合いにより生まれる自主的・主体的な活動の中で、子育ての楽しさや大変さが分かち合える地域づくりなど、地域・家庭・企業・行政等が連携し、社会全体で支援する視点に立った取り組みを推進していきます。

5. 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）実現の視点



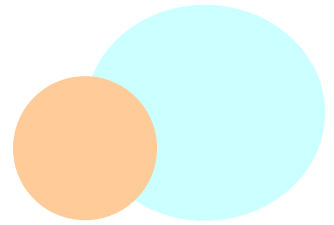
一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て、家事や地域活動への参加など、多様な生き方が選択できる社会の実現の視点に立った取り組みを推進していきます。

6. 包括的な次世代育成支援の枠組み構築の視点



親の就労と子どもの育成の両立を切れ目なくカバーできる体制や仕組みの構築、すべての子ども・子育て家庭に対するサービスや個人給付の普遍化、子どもの健やかな育成の基盤となる地域の取り組みなど、すべての市民が希望する出産・子育てができる社会の実現、という視点に立った取り組みを推進していきます。





基本理念 子どもたちが かがやく未来に羽ばたけるまち 宇陀

施策目標

推進項目

1. 子どもが心身ともに
健やかに成長するための支援

- ①子どもと母親の健康の確保
- ②食育の推進
- ③次代の親の育成支援
- ④就学前教育の充実
- ⑤信頼される学校づくり
- ⑥障がいのある子どもへの支援

2. 子どもの安全の確保

- ①子どもの交通安全を確保するための活動の推進
- ②子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
- ③青少年健全育成事業の推進

3. 子どもの人権の尊重と
権利擁護の推進

- ①人権教育の推進
- ②児童虐待防止対策の充実

4. 子育てを支援する
生活環境づくり

- ①すべての子育て家庭への支援

5. 子育てと仕事との両立の支援

- ①多様な保育サービスの充実
- ②ひとり親家庭に対する自立支援の推進
- ③男女共同子育ての推進

6. 地域における子育ての支援

- ①子育て支援のネットワークづくり
- ②子どもの多様な体験活動の機会の充実
- ③子どもの居場所づくり





各施策目標の推進方向

施策目標1 子どもが心身ともに健やかに成長するための支援

子どもと母親の健康を守り、育児不安の軽減を図るとともに、すべての子どもたちが、心豊かにたくましく生きる力を育てる環境の整備、そして、大切な命を次代に受け継いでいくという意識や子どもを生み育てる事の意義を学ぶ環境づくりを推進します。

具体的に…

① 子どもと母親の健康の確保

- 効率的な母子保健事業の充実 ●健康づくり推進事業
- 母子健康手帳の交付と妊婦指導 ●妊婦一般健康診査受診票交付
- 母親教室 ●乳児（新生児）・産婦訪問指導 ●乳幼児訪問指導 ●育児教室
- 乳幼児健康診査 ●カンガルー教室 ●予防接種
- 宇陀市立病院小児科の設置 ●小児・妊産婦医療情報の提供及び救急医療、情報の提供



② 食育の推進

- 食生活改善推進員活動 ●食育の推進



③ 次代の親の育成支援

- 異年齢交流・職業体験

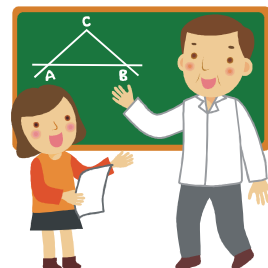


④ 就学前教育の充実

- 保育所（園）・幼稚園と小・中学校の連携 ●園庭開放
- 乳幼児教育の振興活動 ●世代間交流事業

⑤ 信頼される学校づくり

- 総合学習 ●道徳教育 ●部活動の支援 ●小学校・中学校等の整備
- 学校評議員制度の活用 ●宇陀市大宇陀区小学校再編
- 学校施設の開放 ●適応指導教室「はばたき」



⑥ 障害のある子どもへの支援

- 特別児童扶養手当 ●障害児福祉手当 ●障害児保育事業
- 心理発達相談事業 ●障害のある子どもに対する自立支援給付事業



施策目標 2 子どもの安全確保

交通事故や子どもたちを狙った犯罪から子どもを守るため、警察、関係機関、団体等との連携・協力を図り、交通安全教室の実施など総合的な防止対策を進めるとともに、子どもが安全に育つまちづくりを推進します。

具体的に…

① 子どもの交通安全を確保するための活動の推進

- 交通安全登校児童指導 ●交通安全教室
- 乳児用補助装置貸与業務事業 ●交通対策協議会による地域の安全対策の推進



② 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

- 「子ども110番の家」旗の設置 ●防犯ブザーの配布
- 青色防犯パトロール
- 生活安全推進協議会による地域の安全対策の推進
- 防犯教室



③ 青少年健全育成事業の推進

- 喫煙飲酒防止対策の推進
- 街頭啓発
- 啓発標語募集
- 講演会の実施
- 絵本の読み聞かせ事業



施策目標3 子どもの人権の尊重と権利擁護の推進

すべての人々が人権感覚を身につけ、自ら考え、積極的に行動できるような社会の実現をめざして、地域社会における人権教育、学習機会の充実を図っていきます。そして社会問題になっている児童虐待やいじめ等の未然防止と早期発見に努め、相談・支援体制の充実を図ります。また、子どもたちが人権問題に正しい理解を持ち行動できるよう、人権教育を推進します。

具体的に…

① 人権教育の推進



- 小中学校での人権教育の推進
- 保育所（園）・幼稚園での人権教育
- 子ども人権（地域ふれあい活動体験）事業

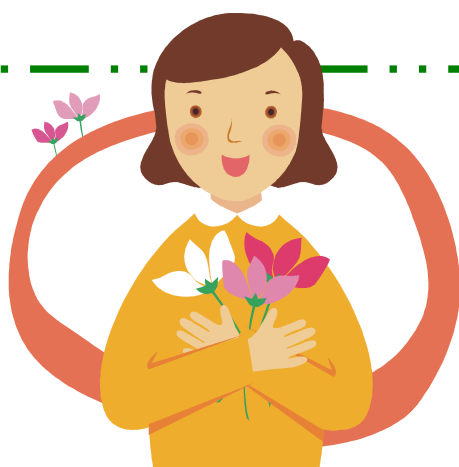
② 児童虐待防止対策の充実

- 要保護児童対策地域協議会
- 虐待の早期発見と予防、対応
- 個別事例検討会議（ケース会議）



施策目標4 子育てを支援する生活環境づくり

希望するすべての人が出産・子育てを安心して実現できるため、生活環境の整備と、すべての子育て家庭への支援として、子育て中の親が社会参加しやすいよう、施策の普及強化や利用しやすい仕組みづくりに取り組んでいきます。また、家庭支援の充実を図るため関係機関との連携を密にします。



具体的に…

① すべての子育て家庭への支援

- 地域子育て支援拠点事業 ●子育てサポートクラブ
- 子ども手当
- 乳児医療費助成制度
- 国民健康保険出産育児一時金
- 宇陀市立幼稚園保育料減免
- 就学援助
- 宇陀市ぬくもり修学奨励金
- 出産祝い事業



施策目標5 子育てと仕事との両立の支援

仕事と子育ての両立を実現しやすいよう、多様な保育サービスの充実を図っていくとともに、両立が困難な状況に置かれがちなひとり親家庭に対して、自立支援の充実に取り組んでいきます。また、男女共同参画においての子育てや「仕事と生活の調和」（ワークライフバランス）を実現できる社会を目指し、国や奈良県とともに啓発活動を進めていきます。

具体的に…

① 多様な保育サービスの充実

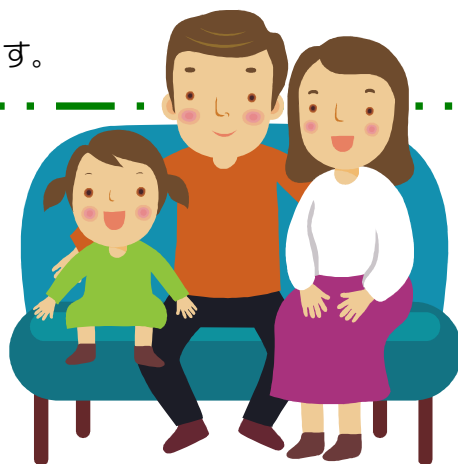
- 保育所の整備
- 通常保育事業
- 一時預かり保育事業
- 延長保育事業
- 預かり保育事業
- 子育て短期支援事業（トワイライトステイ&ショートステイ）
- 放課後児童健全育成事業（学童保育）

② ひとり親家庭に対する自立支援の推進

- 児童扶養手当
- 母子医療費助成制度

③ 男女共同子育ての推進

- 男女共同参画社会の必要性の啓発
- 男女共同参画による子育ての促進



施策目標6 地域における子育ての支援

子育て中の親が子育てに喜びを感じ、責任をもって子育てができるよう、地域社会の温かい見守りや支援等の地域活動がしやすい環境整備を進めます。また、人や施設など地域資源を活用した多様な体験活動の機会を充実させるよう、人と人とのネットワークづくりを進めます。

具体的に…

① 子育て支援のネットワークづくり

- 子育てサークル活動育成支援事業
- 子育て情報の提供

② 子どもの多様な体験活動の機会の充実

- 文化芸術活動体験交流
- 子どもフェスタ
- 市スポーツ少年団
- ジュニアリーダー養成
- 子ども会連合会

③ 子どもの居場所づくり

- 児童館活動
- 地域放課後子ども教室推進事業





計画の推進に向けて

推進体制づくり

本計画は、庁内の推進体制を整えるとともに、計画の推進に不可欠である市民や関係団体との協働体制の働きかけを積極的に行い、協力して計画を進めていきます。

庁内推進体制

毎年達成状況を公表することにより、状況を把握し、福祉課を中心に関係各課が連携し、本計画を推進していきます。

市民や関係団体との協働体制

ホームページ等を通じて、計画の周知・啓発を積極的に行い、関係機関とも連携を図りながら、計画を推進していきます。



宇陀市次世代育成支援後期行動計画

平成22年3月



発行 宇陀市
〒633-0292 奈良県宇陀市榛原区下井足17番地の3
電話 (0745) 82-8000 (代)
編集 宇陀市健康福祉部福祉課